

# チャノキイロアザミウマ情報第1号

平成26年5月16日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 1 発生ピークの予測

有効積算温度を利用した、チャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて5月20日から25日です（表1）。  
本年は、春先の平均気温が前年並だったため、チャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピークは、おおむね前年並と予測します。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	稲武
第1世代	5/24	5/24	5/20	5/24	5/25	5/21	5/23	5/23	6/16
(前年)	5/24	5/24	5/21	5/24	5/24	5/21	5/23	5/23	6/12
前年差	±0	±0	1日早	±0	1日遅	±0	±0	±0	4日遅
第2世代	6/19	6/21	6/15	6/20	6/21	6/17	6/17	6/18	7/14

注) 各地のアメダス平均気温から予測。

5月15日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋のみ前年値）を用いて計算。  
前年の第1世代は、前年気温の実測値を用いて計算。

## 2 防除

ブドウでは、例年5月上旬から成虫の飛来があり（図）、5月下旬から6月上旬に幼虫の発生が見られます。カキでは、開花期頃から成虫の飛来が多くなります。

チャノキイロアザミウマの防除では、初期発生を抑えることが特に重要です。成虫発生ピーク時の農薬散布は、最も防除効果が高いとされています。例年発生の多いほ場では、表1から第1世代成虫の発生ピークを予測し、適期に防除しましょう（表2）。

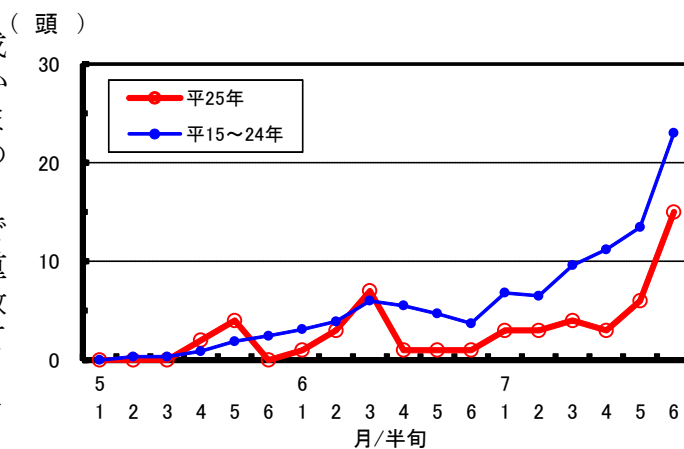


図 粘着トラップによるチャノキイロアザミウマの成虫誘殺数（東浦町・ブドウ）

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
ブドウ	モスピラン顆粒水溶剤
	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤
	ディアナWDG
カキ	スプラサイド水和剤
	モスピラン顆粒水溶剤

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。